

WEB公開

NAFSA2026 オーランド大会 《STUDY IN JAPAN 日本合同ブース》 出展団体様アンケート集計結果

回答：ブース出展 25団体中 25団体（回答率：100.0%）

- ◎大会終了後（2026年7-8月）にWEBアンケートを実施。
- ◎実際に参加された教職員の方に回答を依頼。
- ◎自由記述の回答は原文ママ

ブース出展 25団体

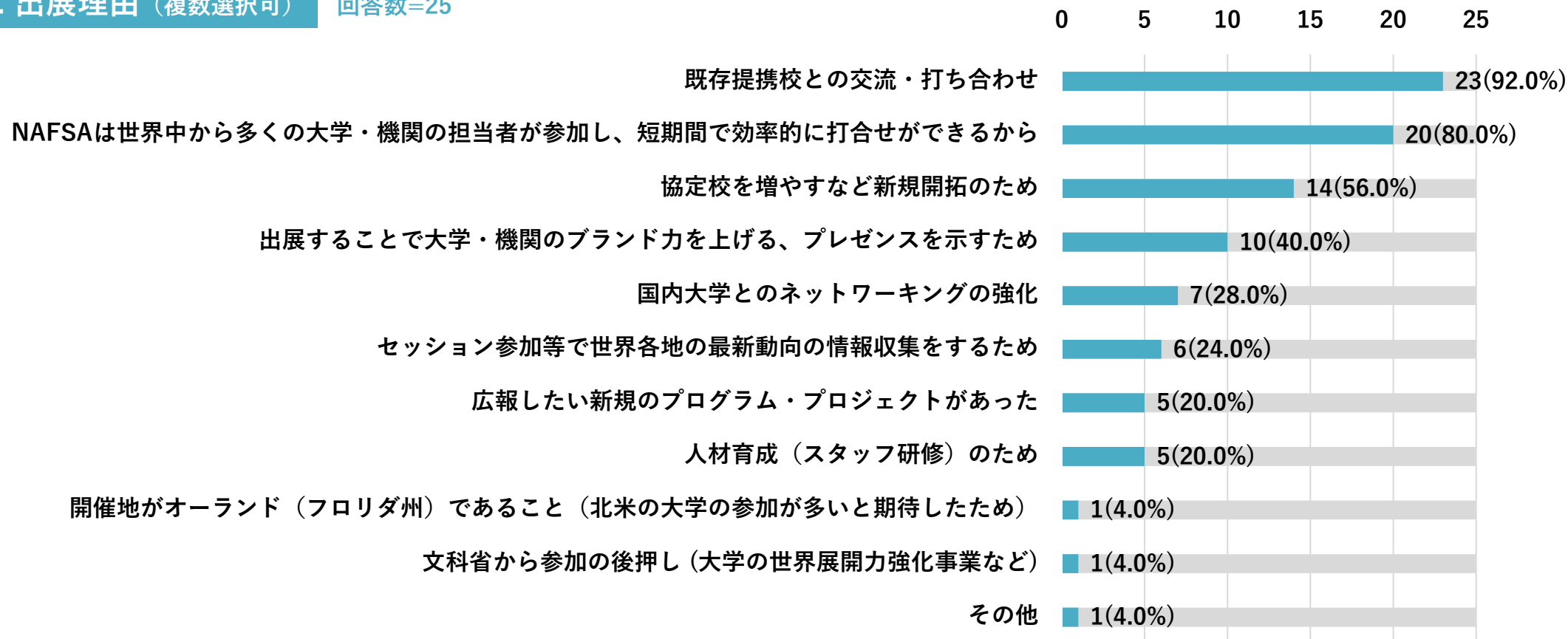
アンケート集計結果

1

NAFSA2026オーランド大会に出展した理由を教えてください。

1. 出展理由（複数選択可）

回答数=25



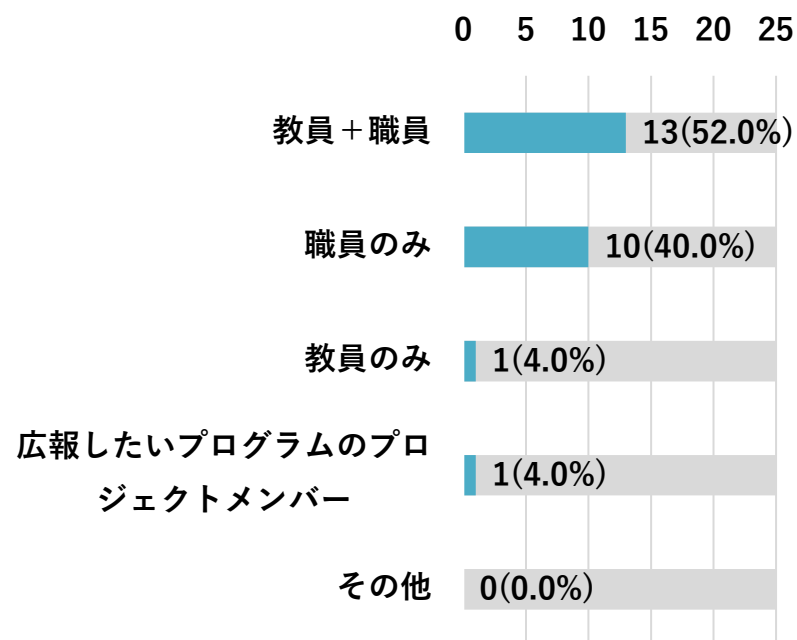
※その他（1） ■ インフォメーションカウンターでの来訪者対応のため

2

ブース対応の出展参加者について伺います。

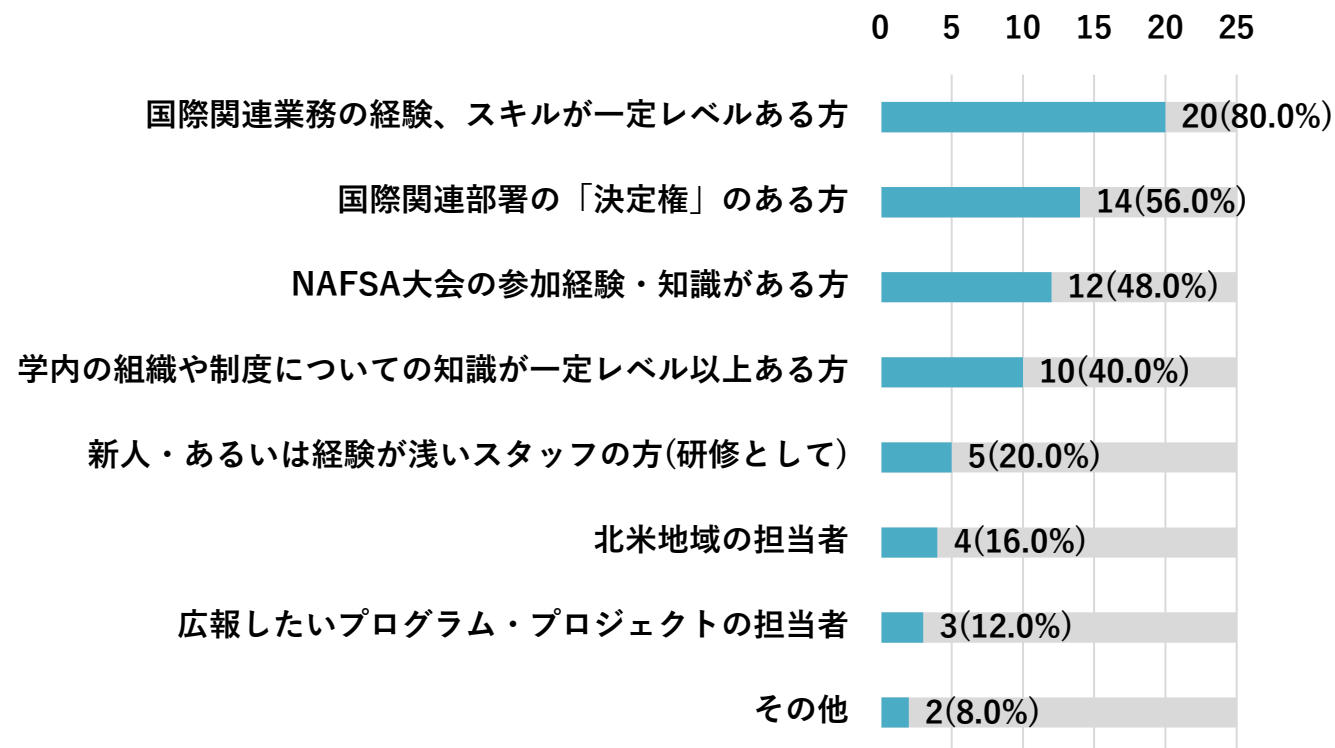
2-1. 出展者カテゴリー（複数選択可）

回答数=25



2-2. 出展者選出の基準（複数選択可）

回答数=25



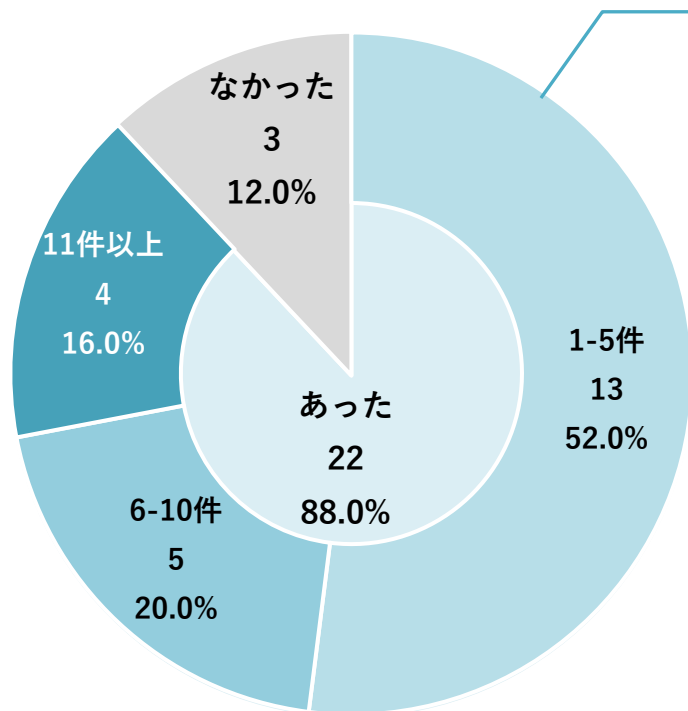
※その他（2）

- このような国際関連イベント参加が初めての教員
- 国際関連部署の上長が選出する

対面の大会では、事前のアポイント無しブース訪問が生まれやすいと思います。
貴学ブースでも「飛び入りの打合せ」がありましたか。

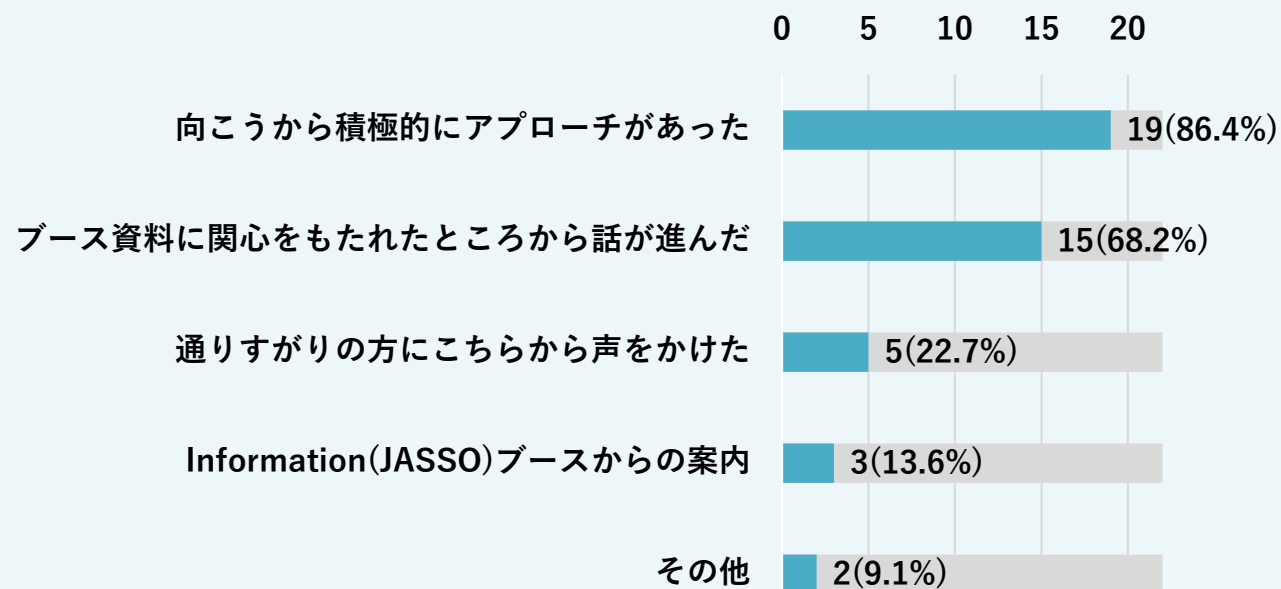
3-1. 打合せ有無と件数（単一選択）

回答数=25



3-2. 打合せのきっかけ（複数選択可）

回答数=22



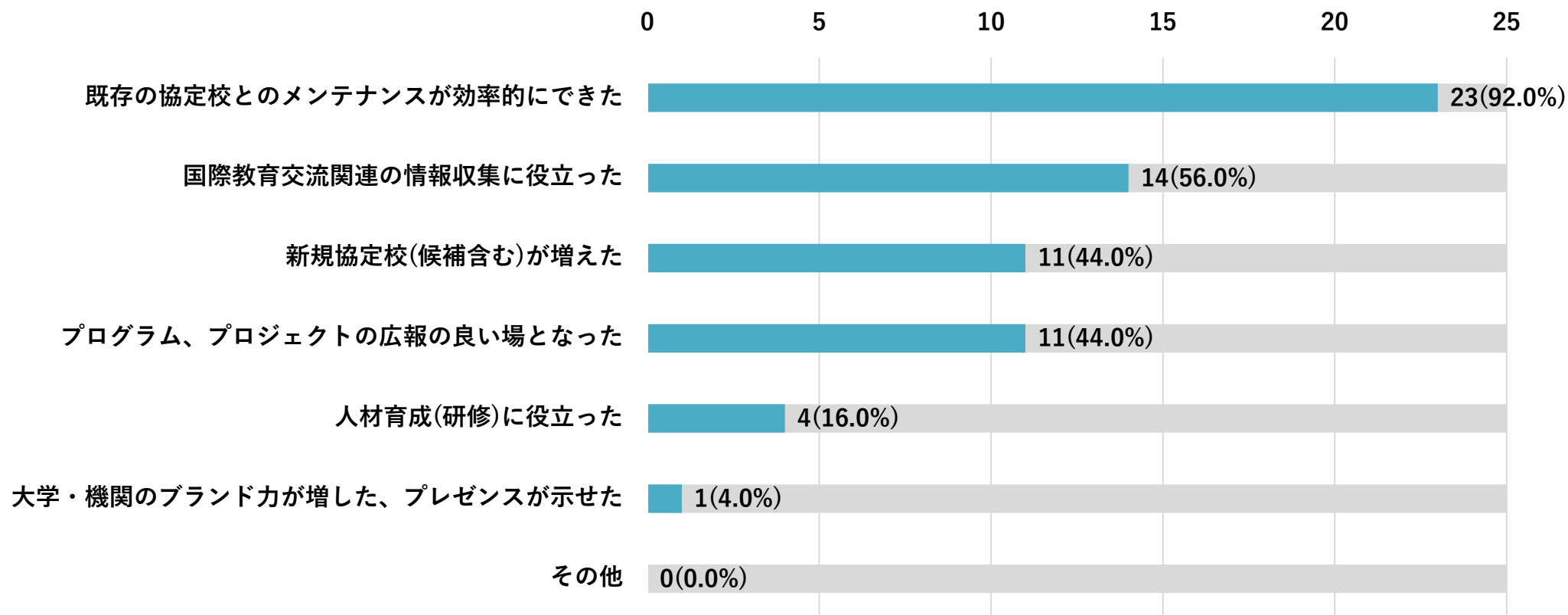
※その他 (2) ■ アポイントのなかった協定校で話したいことがあったところ
■ 事前予約が取れなかったので直接訪問した

4

出展した成果について教えてください。

4-1. 出展成果（3つまで選択可）

回答数=25



4

出展した成果について教えてください。

4-2. 成果の具体的な内容（自由記述）

回答数=18

- NAFSAで名刺を交換した海外の大学（1校）とオンラインの打ち合わせにつなげた
- 協定校が3校増えた。既存協定校の交換数の増加ができた。
- 本学が強化したいと思っている欧米系の大学3校と協定締結に向けての話し合いを始めることができた。
また既存協定校との打ち合わせでは、メールでは伝えることが難しい細かなニュアンスも含めて対面で話し合う機会を持つことが出来たのはよかった。
- 協定校が10校近く増えた。
- 今まで提携のなかった国の大学と学生交換協定を締結した。
- 現地で接点のできた協定候補校（4校）との間で具体的な交渉を行っている。
- 協定締結までは至っていませんが、現在4大学と具体的に手続きを進めています。
- 協定に結び付ける話が3校とできた
- アメリカの協定大学はEAIEやAPAIEにはなかなか出てこないなので、アメリカの協定大学と効率的にミーティングが持てた。
- インドやトルコ方面からの日本留学の需要が高い（興味を持ってもらえている）ことを実感した。

（次ページに続く）

4

出展した成果について教えてください。

4-2. 成果の具体的な内容（自由記述）

回答数=18

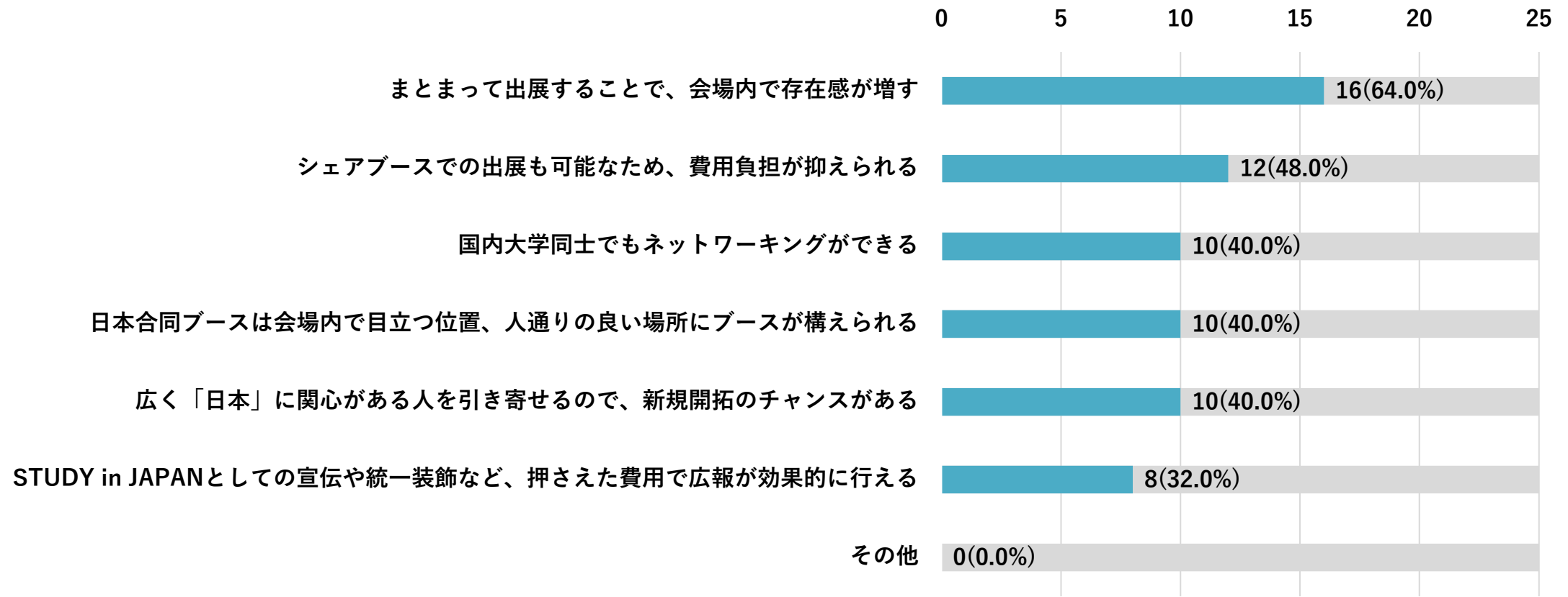
- 協定校と懸案事項や確認事項について対話でき、オンラインでは難しい親密な交流ができた。協定校から情報を得て、提携内容の見直しにつなげることができた。
- 協定校間で生じている派遣、受入のインバランスについて解決策の話し合いが効果的に行われた。メールのやり取りでは出てこなかった話が対面で話し合うことにより進展した。
- 既存協定校との問題点などの確認等（具体案）
- 協定校および提携機関と、現地で直接打ち合わせを行い、今後の受入・派遣に向けた具体的な施策（新規プログラム、不均衡是正に向けた説明会・制度等）の検討をすることができた。また、現地で日本の他大学の担当者とも顔を合わせ、共通の課題（COE申請や業務の外部委託状況等）について有意義な意見交換ができた。
- いろいろな協定校に確認したいテーマがあったので、効率的に実行できた
- 連絡が取れなかった大学と直接打合せを行うことができた。
- 8か国12協定校と効率よく、メンテナンスができた。現場での職員の経験は、ほかには代えがたい研修となった。現地でしかできない情報交換は貴重であると感じた。
- 既存協定校約20校との情報交換MTG

5

単独ブース(1大学のみで出展)でなく、
「日本合同ブース」で出展するメリットをどこに強く感じますか。

5. 「日本合同ブース」出展のメリット (3つまで選択可)

回答数=25



NAFSA2026オーランド大会に参加された大会全体への感想や日本ブース出展に関するご意見など自由にお聞かせください。

7. NAFSA2026の感想・意見（自由記述）

回答数=06

- 前回と比べ参加大学数が減少したと伺っておりますが、対面にて協定校と問題や新規プログラムについて意見交換ができたことはたいへん有意義な時間でした。
- JAFSAやJASSO等のブースについても、日本の大学ブースと同じエリアにまとめた方が、日本全体としての大学のPRにつながるのではないかと感じております。
- 海外の多様な大学とネットワークを広げることができました。大会全体については、EAIEと比較すると、大学よりも、エージェントなどの参加が多い印象を受けています。

- NAFSA2026オーランド大会では大変お世話になりました。初めて参加させていただきましたが、JAFSA側の支援もあり、大変心強く感じました。説明用のポスターをテーブルにておいてありましたが、アクリルのスタンドごと持っていけました。他大学さんは段ボール製のスタンドを利用しているところもありましたので次回はそのような形で工夫できればと思いました。情報交換会でも複数の大学の方とお話しでき、貴重な機会となりました。ありがとうございました。
- 例年に比べて、参加者数が少なく活気もなかった印象だった。
- この度も大変お世話になりました。この貴重な機会で得た成果を持ち帰ることで、さらに本学の国際化における方針の精緻化が必要だと気づかされ、大変有益であった。